

外部へのメール送信に際しての情報（メールアドレス）流出について

県内訪問看護ステーションに対し、「医療的ケア児とその家族の支援に関する研修」（※1）のご案内をメール送信した際、送信先全員のメールアドレスが表示される形で一斉送信する事案が発生しました。

関係の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

※1 医療的ケア児とその家族の支援に関する研修

島根県医療的ケア児支援センターが主催する医療的ケア児（日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童）に対する正しいケアの方法を医療専門職等が学ぶための研修会。

（島根県医療的ケア児支援センター）

医療的ケア児支援法に基づき島根県が島根大学を島根県医療的ケア児支援センターとして指定、センター業務を業務委託しているもの。事務局は、島根大学医学部内に設置。

1 事案の概要

県内訪問看護ステーションに対して、研修会の案内メールを送信した際、本来送信先が分からない「BCC」で送信すべきところ、誤って「TO（宛先）」で送信した。

2 流出した情報

メールアドレス 94件

3 事案の経緯

12月12日（火）

- ・14時48分頃、メールを一斉送信
- ・メール送信直後、同所属職員からの指摘で、本件を把握。
- ・当該メールを受信された方全員に対し、メール誤送信に関するお詫びと当該メールの削除をお願いするメールを送信

※現時点で被害等の報告はなし

4 発生原因

複数の職員で確認すべきであったが、確認を怠っていた。

5 再発防止策

- ・同様の事案発生防止のため、情報部門においてシステム改修等を検討。
- ・庁外の複数の宛先にメール送信する際には、送信先がBCCとなっていることを複数職員で確認することを徹底する。
- ・所属内で改めて情報セキュリティに関する研修を実施する。